

県立多治見病院 緩和ケア病棟通信



発行：県立多治見病院 緩和ケア病棟 2016年 9月号 VOL.80

文責：河村銘子 編集：櫻田亜矢子

9月22日、第12回『はすの実会』が行われました。多治見に大雨洪水警報が出た中、遺族、病棟スタッフ、ボランティア総勢72名と多くの方にご参加いただきました。

会の始めにはハーブ演奏があり、ハンカチで目頭を押さえながら聞かれる方もみえ、その後はいくつかのグループに分かれ、家族や親しい人を亡くされた方同士がゆっくりお茶を飲みながら語り合う場を設けました。亡くなるまでの経緯を話し、今の気持ちを素直に話すことにより、悲嘆の分かち合いができ、「今でも忘れることができずに泣いています」、「忘れなくてもいいですよね」、「遺品の整理を始めています」、「前を向いて進もうとしなくてはと思っていますけど・・・」など話し、他の人のお話に頷き、相槌し、そして共に涙を流されていました。

虎山住職から、“私の中の仏”についての法話があり、スタッフより一輪ずつお花をお渡ししました。帰り際に、「また次回も参加したいです」と言ってくださった方もみえました。

「命とは」、「生きるとは」について考えることが出来た一日となりました。



10月の病棟 イベント予定



- 3日 マジックショー
- 5日 音楽療法
- 12日 ハーモニカ演奏
- 17日 音楽療法
- 20日 園芸療法
- 21日 三線
- 24日 法話
- 27日 ハーブ演奏



ふれあい喫茶開催日

10月6日(木)・10月13日(木)
10月19日(水)・10月26日(水)



14時～16時 病棟ダイルムにて
緩和ケア病棟ダイルムにて上記日程でふれあい喫茶を開催しています。緩和ケア病棟を退院した患者さんやそのご家族もどうぞご参加下さい。
*都合により中止の場合もあります。お電話でご確認ください。